

せいろう

Seiro Town

議会だより

Vol.118

3月議会

平成29年
4月28日発行

新潟県聖籠町議会

ママ、ぼく心配だよお
(蓮潟こども園)

民生費 大幅に削減

2~6ページ

お聞きしました! 「まちのこと」

12~13ページ

10人が一般質問

16~26ページ

第19回追跡レポート

27ページ

民生費 大幅に削減

財政改革に伴う平成29年度の39事業廃止・削減

- 長寿祝金支給 158万円削減
- 寝たきり老人等介護者手当 384万円削減
- 高齢者応援手当支給 728万円削減
- 精神障害者入院費扶助 410万円削減
- 私立保育園運営費補助 329万円削減
- 在宅介護支援センター委託 441万円削減
- チャイルドシート購入費 廃止

福祉事業に注目する

主な福祉事業

民生費だけで2400万円以上削減



- 農林水産振興事業 1947万円削減
- 行政連絡事務等委託 138万円削減
- 太陽光発電施設設置補助金 廃止

その他の主な事業

一般会計 66億9000万円 (前年度比5.8%減)

予算 審議

予算審査特別委員会

平成29年3月14日から17日の4日間にわたり、平成29年度一般会計予算、特別会計予算、事業会計予算の7会計を、議長を除く議員13人で慎重に審査を行いました。

委員会初日から3日間、会計ごとに担当課長から予算の説明を求め、新年度に行われる新事業の予算や従来からの事業について、町民目線の質疑が繰り広げられました。一般会計予算では、反対討論があり賛成10人、反対3人の賛成多数で可決しました。

一般会計予算

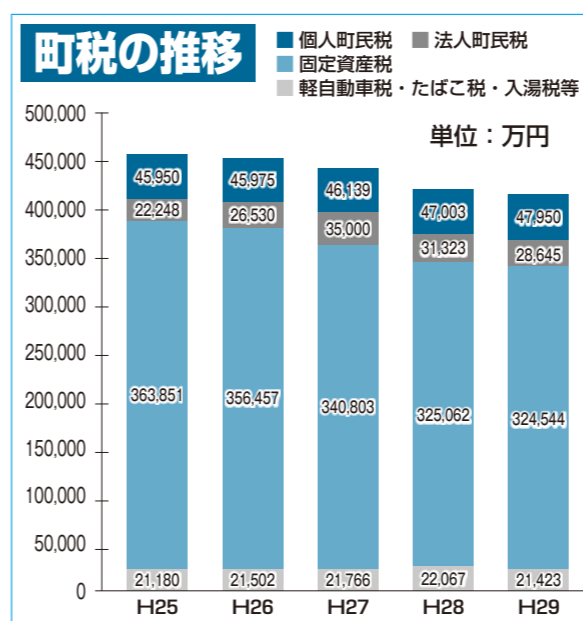
平成29年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ66億9千万円で、前年度対比5.8%減となっています。

歳入においては、大きな収入源である固定資産税が逐年減額しています。本町において全体の63.2%を占める町税は、42億2562万円で、前年度の42億5455万円に対して、2893万円の減、率にして0.7%の減となっています。

特に財政の厳しさを踏まえて、これまで積み上げてきた福祉政策を中心とした39事業の約7800万円を削減・廃止に踏み切った予算になっています。一方で、法人町民税、固定資産税の増加が見込

まれないなか、町として大きな強みである人口増は、個人町民税の増収にも大きな力となることから、平成32年度人口1万5千人達成に向けてさらなる前進を要望します。歳入においては、財政改革の取り組みにより町の単独施策をはじめとする

る義務的経費・その他経費等の全ての事業を精査しました。その上で、今まで以上に財政健全化を進め、限られた財源を真に必要とされる施策に振り分け、さらに町民全体の恒久的な幸運と、公共福祉の向上に向けた町づくりを進めることを望みます。



平成29年度一般会計・特別会計予算

会計名	平成29年度	平成28年度	前年度対比	採決結果	
一般会計	66億9000万円	71億0000万円	△5.8%	可決：賛成10・反対3	
特別会計	国民健康保険 事業勘定	15億3401万円	15億1430万円	1.3%	可決：全員賛成
	国民健康保険 施設勘定	9829万円	1億1697万円	△16.0%	可決：全員賛成
	介護保険	12億4855万円	12億4307万円	0.4%	可決：全員賛成
	後期高齢者医療	7576万円	7569万円	0.1%	可決：全員賛成
	県営開拓パイロット事業	991万円	991万円	0.0	可決：全員賛成
事業会計	下水道事業 収益的支出	7億1733万円	7億2799万円	△1.5%	可決：全員賛成
	下水道事業 資本的支出	3億9030万円	3億8218万円	2.1%	可決：全員賛成
	水道事業 収益的支出	2億8374万円	2億8703万円	△1.1%	可決：全員賛成
	水道事業 資本的支出	3267万円	8350万円	△60.9%	可決：全員賛成
合計	110億8056万円	115億4064万円	△4.0%		

質疑あれこれ

予算審査特別委員会の主な質疑



▲集落で一致団結 まちなか防災訓練

問 区長手当に上限を付けたことで、不公平感が生じるのではないか。

答 集落によって世帯数のばらつきはあるが、理解を得ていきたい。

問 451世帯以上は区長手当が、98万円の高止まりとなる。網代浜600世帯、次第浜582世帯、亀塚449世帯である。考え方がおかしいのではないか。

答 区長手当については、過去には特別職報酬等審

問 区長手当に上限を付ける

議会で、特別職の報酬が上がると区長手当を上げていた時期があった。

問 集落の区長手当について、委託料から報酬費に変わった理由は何か。

答 区長手当を委託料にしていたことについて、以前から議会に指摘されてきた。今回、委託料から報酬費に変え、区長の口座へ直接振り込む。区長には、源泉徴収票を発行する。

区長手当に上限を付ける

問 循環バス運行について、委託前と委託後ではどのくらいの金額の差があるのか。

問 町の公共交通実態は



▲運行便数を検討する循環バス

答 循環バス運行の委託前は3305万円、委託後との差額は1471万円くらい高くなっている。

問 循環バス事業の委託料は、少しでも削減することはできないか。

答 バスの台数が増えているので増となっている。利用者の少ない時間帯

問 町の公共交通実態は

答 町の公共交通実態は

問 町の公共交通実態は

答 町の公共交通実態は

問 町の公共交通実態は

答 町の公共交通実態は

町制施行40周年



記念式典、その他、記念事業開催のための費用です。

生ごみ堆肥化



生ごみを収集して堆肥化し、農地に還元します。

聖籠町公共交通



町の循環バス委託料、地方路線バスの維持補助、中学校への冬期通学バス委託料。

クルーズ船受け入れ



4月、7月、東港にクルーズ船が入港します。受入れ対応を図るものです。

こども園トイレ改修



こども園のトイレ洋式化改修工事をします。

動議 議長不信任案が提出される

～採決は賛成少数で否決

提出者 小川勝也議員
提案理由

議会は、住民を代表する公正な議員をもって構成される地方公共団体の意思決定機関である。議会は多数の議員で構成され、住民に最も身近で、住民を代表する機関である。住民の代表である議会は、議員全体で徹底した議論を行うのが本質である。

しかし、平成 28 年 12 月 26 日付けの 3 浜区長から出された、議会選出の監査委員の行動に対する調査要望について、議長は、切実な要望書に対する取り扱いを、議会の 1 グループ 8 人のみで協議を行った。議長として、著しく中立性を欠くものである。

聖籠町議会には、過去の経験から議会規則、議会運営に関する申し合わせ事項がある。今回の要望書の扱いは、この申し合わせ事項に該当し、所管の委員会に付託すべき事柄であった。

平成 29 年 1 月 16 日の区長会で、執行部が議会選出の高松監査委員の情報漏えいの事実はなかったという報告を根拠に、議長は、要望書を返すという誤った判断をした。

全員協議会において、議長に与えられている議事整理権を主張したが、権利の濫用であり、議会の権威を落とした。

議長が誤った判断をするようでは、正しい審議ができない。誇りを持つる議会にし、議会の流れを変えるため動議を出した。

宮沢光子議員 議会運営をスムーズにするため、議会を代表する議長の責務は大きい。しかし、議員一人一人にも、議会運営をスムーズにしなければならぬ責務がある。

議長不信任案が出たことで、3 浜区長からの要望書は、なぜ出たのか。書かれている元凶は何か。指摘された当該議員の行動や言動が闇に葬られることになる。そのことをどう考えている。

小川勝也議員 代案については、本来であれば、議会運営委員会等で議論してもらいたかった。

高松監査委員については、同僚議員が一般質問したこともあり、今後、また考えたい。議長不信任

宮沢光子議員 議会運営をスムーズにするため、議会を代表する議長の責務は大きい。しかし、議員一人一人にも、議会運営をスムーズにしなければならぬ責務がある。

議長不信任案が出たことで、3 浜区長からの要望書は、なぜ出たのか。書かれている元凶は何か。指摘された当該議員の行動や言動が闇に葬られることになる。そのことをどう考えている。

小川勝也議員 代案については、本来であれば、議会運営委員会等で議論してもらいたかった。

高松監査委員については、同僚議員が一般質問したこともあり、今後、また考えたい。議長不信任

賛成 五十嵐利栄議員

議長の判断誤りの一つは、議長宛ての要望書を、調査対象の議員もいる一党派 8 人のみで協議をしたことである。

日本国憲法第 16 条で、全ての住民は請願する権利が保障され、議会は誠実に処理しなければならないことである。

3 浜区長連名の要望書が由に浮いている。

記載内容が執行機関に關係した要望事項であっても、議会としては受理し、真摯に取り組まなければならない責任がある。

議会選出の監査委員に対する行動も、地方自治法第 98 条、100 条の検査、調査権を調べれば済むことだ。

要望者に対し議会の責務を果たさせない議長は、議長たるに値しない。

採決 賛成 5 反対 6 退席 1 で否決

3 月議会が始まり、2 日目に、議長不信任案の動議が出されました。聖籠町議会の歴史上、まれに見る動議の提出です。

議長自身のことなので、除斥の対象になり、退席し、代わりに副議長が進行を務めました。

主な質疑

要望書に書かれた元凶をどうする



▲備えあれば憂いなし

問 子どもの海外研修について、今後の見通しはどうなるのか。

答 中学生の海外研修は、平成 29 年度はオーストラリアである。ホームステイ先や学校を、新たに求めることは困難である。

問 情報機器借上料は、3 年間で 500 万円も上がっている。もう少し抑えることはできないか。

答 情報機器借上料については、平成 28 年更新時に安くできないかの交渉もしている。デスクトップ

問 QUTテストは無駄と思う。中学校は、結果を出せていないがどうなのか。

答 QUTテストについては、各学校にアンケートを出している。効果については、具体的に子どもの指導について自信がきている。



▲訪問診療に期待する診療所

問 国保診療所の患者は、当初のころから比較すると、3 分の 1 になっている。しかし、診療所の職員は 8 人。職員は多いのではないか。

答 平成 29 年度は看護師を 1 人削減し、7 人とする。

問 国保診療所の患者の減が回復しないなかで、今後の診療所のあり方について検討する時期に来ているのではないか。

答 医師がしばらくの間は、患者減となく

問 国保診療所の患者は、今の医師は現状では適正であるという考えである。今後は、訪問診療に力を入れていきたい。

問 診療所の内視鏡洗浄装置は、使用しなくても洗浄装置使用料は必要なのか。

答 内視鏡は使用しなくても、洗浄しておかないと使用できなくなる。今後、内視鏡については、検討したい。

国保診療所の経営対策を

防災備蓄は大丈夫か

問 今回の予算の消耗品は、備蓄の飲料水だけなのか。

答 平成 27 年から防災倉庫の備蓄をしてきた。予算の消耗品は、飲料水だけではない。備蓄はミルク、オムツ、炊き込みご飯、ビスケット、ご飯等、5 年ごとに入れ替えていきたい。

問 防災倉庫の備品の入れ替え時に、捨てるのでなく活用はできないか。

答 乳幼児のミルクについては、聖籠こども園が同じメーカーのものなので、差し上げた。



▲未来を担う子どもたちの ICT 教育

どうなる子どもたちの教育

問 子どもの海外研修について、今後の見通しはどうなるのか。

答 中学生の海外研修は、平成 29 年度はオーストラリアである。ホームステイ先や学校を、新たに求めることは困難である。

問 情報機器借上料は、3 年間で 500 万円も上がっている。もう少し抑えることはできないか。

答 情報機器借上料については、平成 28 年更新時に安くできないかの交渉もしている。デスクトップ

3月定例会

長寿祝金支給条例の一部改正、連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結、平成29年度7会計予算など21議案を全て可決。

平成29年3月7日～21日(15日間)

条例改正

長寿祝金を引き下げ

長寿祝金支給条例

小川益一郎議員 町の財政状況をみると、財源不足は否めない。しかし、長寿祝金は、高齢者にとって楽しみの一つである。長寿祝金はこれまで、町長の大事な福祉施策だったのではないかと。現行のまま、高齢者に対し継続すべきである。

高齢者福祉は拡充された

反対 中村恵美子議員 高齢者や弱者に対し、厳しい改正である。今回、祝金の削減額は、158万円である。予算削減について、敬老会の対象年齢の引き上げをする等、

討論

町長 高齢者に対し、介護保険などがない時代は、祝金制度は良かったと思う。しかし、介護保険制度が確立され、高齢者福祉は拡充された。祝金については、近い将来、廃止も視野に入れている。

条例改正

所得制限を設ける

重度心身障害者医療費助成に関する条例

当該医療費助成に関しては、所得制限を設けず実施してきました。しかし、逐年厳しさを増す財政状況を踏まえ、今後持続可能な福祉政策を堅持するため、所得制限を設けます。所得制限を設けることに伴い、受給資格の更新時に所得に係る審査が必要になります。

主な質疑

所得証明は義務付けか

宮沢光子議員 所得制限を設けることで、医療費助成を受けられない人が、対象者約400人のうち何人程度になるのか。所得証明は、重度心身障害者全員に義務付けするのか。

全員に義務付け

保健福祉課長 所得が一定基準以上だと助成の対象外になるが、対象外は、10人程度になると思われる。所得証明については、対象者は約400人であるが、全員に更新時、申請書を提出してもらい、所得の調査に同意をもらう。

討論

採決 賛成12反対1で可決

決案

新潟市と連携して取り組む事業

連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結

新潟市を中心とした、近隣の7市3町1村を圏域とする連携中枢都市圏構想の推進に向けて、各政策分野における役割分担や連携して取り組む事業の協議を進めてきました。平成28年12月に新潟市が「連携中枢都市宣言」を行いました。

新潟市と聖籠町において協議が整い、連携中枢都市圏の形成に係る協約を締結するため、議会に議案として出されました。

主な質疑

各担当課は深く議論したか

中村恵美子議員 連携する各市町村には、特別交

【生活機能の強化に係る政策分野】

取	組
福祉	少子高齢化社会に対応した福祉サービスの充実に取り組む。
教育・文化・スポーツ	公共施設の相互利用等による教育・文化・スポーツの振興に取り組む。
土地利用	コンパクトシティをはじめとした、圏域全体の土地利用の在り方の検討に取り組む。
地域振興	地域の観光資源の開発や商店街の活性化等に取り組む。
災害対策	災害時の連携体制の構築や防災・減災施策の推進に取り組む。
環境	自然環境の保全や循環型社会の構築に取り組む。

【結びつきやネットワークの強化に係る政策分野】

取	組
地域公共交通	地域公共交通ネットワークの確保や利便性向上に取り組む。
道路等の交通インフラの整備・維持	道路の老朽化対策やネットワーク機能の向上に取り組む。
地域の生産者や消費者等の連携による地産地消	食の安全・安心の確保や地産地消の推進に取り組む。

町のメリット・デメリット

五十嵐利栄議員 連携中枢都市宣言をした、新潟市には、特別交付金1億2千万円が交付される。しかし、当町には、交付金は入らない。新潟市と連携し行う事業などで、当町の職員の負担が多くなることはないのか。この締結を行うことで、当町のメリット、デメリットは何か。

当町の費用負担を抑える

町長 連携中枢都市圏構想については、新潟市からの呼びかけで協議を進めてきた。不交付団体である当町の事情は、新潟市は十分承知している。連携する事業費用については、当町の費用負担を抑える方向性である。

総務課長 締結を行うことでのメリットは、圏域内において、人口減少・少子高齢社会であっても活力ある地域を維持でき

討論

反対 中村恵美子議員

連携中枢都市圏の形成に係る連携協約は、運用によっては、連携中枢都市に連携した市町村は従属することになりかねない。容易に離脱することもできず、将来的に連携市町村の住民自治が脅かされることが懸念される。

採決 賛成11反対2で可決

町道認定

別條南線を町道に

民間宅地開発で施工された造成地内の道路が、都市計画法の規定に基づき町に帰属されたため町道として認定しました。別條南線↓大字別條10番21から大字別條10番20(延長175・8メートル)

質疑

採決 賛成12反対1で可決

「新たな保育施設の建設始まる (蓮湯こども園)」

一般会計補正予算

<p>主な歳入</p> <ul style="list-style-type: none"> ■社会資本整備総合交付金 1212万円 ■地方創生拠点整備交付金 3002万円 	<p>主な歳出</p> <ul style="list-style-type: none"> ■消雪パイプ設備工事 1803万円 ■地方創生拠点施設建設工事 (蓮湯こども園) 6005万円
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



▲生ごみ回収に協力を

生ごみ袋への要望はあるか

中村恵美子議員 生ごみ指定袋の大きさや配布枚数等、要望がきていると思うが、どう対応している。

要望は特にな

生活環境課長 大きさに ついては、町民からの要望はない。種類を増やすと単価が高つくため、平均した大きさで販売し

実態調査を

五十嵐利栄議員 生ごみ収集量が減少していると聞く。集落別に実態を調査し、町民への協力要請をすべきではないか。

調査をしていく

生活環境課長 各小学校区での収集量は分析しており、一番少ないのは山倉小学校区、次いで亀代

平成28年度一般会計補正予算は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6401万円を追加し、総額73億9211万円と定める予算を全員賛成で可決しました。主な質疑は入湯税、東山団地使用料滞納繰越、ごみ指定袋、生涯活躍のまち(CCRC)構想研究会などについて行われました。

主な質疑

所管からの指導を

五十嵐利栄議員 入湯税が入館料の値上げ前より減少傾向にある。経営内容の見直し、所管からの指導が必要ではないか。

意向は伝える

町長 入湯税に関しては年度途中であり、若干の伸びが予想される。意向については反映できるよ

研究会の詳細は

中村恵美子議員 生涯活躍のまち構想研究会の開催は何回か。またどの程

報告書が提出される予定

総務課長 開催は7回の予定。最終的には3月15日に研究会の報告書が提出される予定となっている。

回収方法をどう考える

宮沢光子議員 東山団地の滞納に対する回収方法は考えているか。滞納整理要領を作成



▲きれいになった東山団地

早めに検討する

町長 できるだけ早い時期に計画を立て、総合的に機能し、かつ有効活用されるよう検討を加えていきたい。

今後も看護師を配置するのか

宮沢光子議員 社会福祉協議会に委託しているデイサービスにおいて、諸事情により、昨年からの町の看護師を配置している。平成29年度はどうなるのか。

配置予定である

保健福祉課長 平成29年度も配置の予定である。

購入費の詳細は

中村恵美子議員 公有財産購入費の詳細は、今後の活用方法は決まっているのか。

みかさや跡地である

総務課長 地場物産館隣りの、みかさや跡地の購



▲活用がもたれる「みかさや」跡地

みかさや跡地のすみやかな対応を

五十嵐利栄議員 産業の活性化を図るため、みかさや跡地の活用について、できるだけすみやかな対

入費である。町長 活用について、さまざまな方の意見を聴取し、方針をまとめていく考えである。

町の自慢は田んぼ



3年
小林 大和さん

質問1 図書館や町民会館など、公共施設が充実していて、お祭りなどの地域交流の場もあるので、楽しくて住みやすい町だと思います。

質問2 僕は、田んぼを自慢します。かわいらしい小さい葉を見て春を感じ、強くたくましく生きる一面の青い穂で夏を感じ、黄金に光り輝く一面の稲穂で秋を感じる。そんな美しい景色がこの町の自慢です。

質問3 最近、病院や図書館など新しい施設ができ、聖籠町はとても便利になってきています。ですが、もうほとんど使わ

れていない公園などが老朽化していたりするので、そういったところも気にしてもらえれば、さらに良くなっていくと思います。新しいことをするのも素晴らしいことですが、前あったものをどうするか考えてもらえることを期待しています。

質問4 名前は聞いたことがありましたが、実際に読んでみると、聖籠町についてよく分かるそうなので、これを機に、見てみようと思います。

質問項目

- 質問1** 聖籠町を住みやすい町だと思いますか？
- 質問2** 聖籠町外から友達が訪ねて来たとき、聖籠町のどんなところ(どんなもの)を自慢(紹介)しますか？
- 質問3** 10年後の聖籠町への期待は？
- 質問4** 「議会だより」を読んだ(見た)ことはありますか？

安心・安全な通学路の整備を



3年
武田 結愛さん

質問1 とても住みやすい町です。

毎日楽しく生活できているし、友達や家族・地域の方を見ても「笑顔が多い」と感じるからです。

質問2 便利な施設もあり、おいしい食べ物もたくさんあります。そして、地域の方々は「おはよう」「おかえり」と家族のように声をかけてくれます。

「自慢できることがたくさんある町である」とことが自慢です。

質問3 10年後、今よりも楽しく過ごせる町になっていると期待しています。

期待の中にも、改善し

てほしいことがあります。中学校まで自転車で通学していますが、歩道の草が多かったり、木が育ち過ぎて道が見えなかったりします。また、街灯が切れていて暗い所もあります。不安がなくなっ、今の小さい子たちが安心して通学できるようにしてほしいです。

質問4 見たことがありません。小学校6年生の時に町の広報と一緒に見ました。内容が難しくあまり興味がありませんでしたが、見てみたいと思います。

お聞きしました! 「まちのこと」

昨年の議会だより114号に引き続き、聖籠中学校の平成29年度の生徒会役員に「まちのこと」をお聞きしました。
平成28年12月、生徒会の選挙に向けて、立候補者の生徒たちは、生徒玄関でのあいさつや昼

の放送演説などで自分の思いを全校生徒に伝え、生徒会役員に選ばれました。
生徒会の活動を通して、心身ともに大きく成長してもらいたいと思います。
より良い学校づくりに期待します。

ゆるキャラで町をPR



3年
佐藤 美希さん

質問1 私は住みやすい町だと思います。聖籠町には、たくさん施設があり、その施設は誰でも使いやすくなっています。だから、町民一人一人が楽しく充実した生活を送れる住みやすい町だと思います。

質問2 私は聖籠町の特産であるサクランポ、ブドウを自慢します。作っている農家によってこだわりが違うので、そういうことも紹介したいです。

質問3 私は10年後の聖籠町にとても期待しています。なので、たくさんの人にもっと聖籠町のことを知ってもらい、いい

町だと思ってもらいたいと思います。例えば、聖籠町のイメージキャラクターである緑丸、花ちゃんも町民の皆さんは知っていると思いますが、町外の人にはあまり知られていません。だから、より多くの人に知ってもらい、それを通して聖籠町に興味を持ってもらえたら、聖籠町を訪れる人ももっと増えると思います。

質問4 私は、自分に関係のあるページしか読んでいませんでした。でも、聖籠町に住んでいるので、もっと進んで読みたいです。

公共サービスが充実している



3年
池田 美月さん

質問1 聖籠町には海や図書館、町民会館などといった公共施設がたくさんあり、ゴミ袋が無料など公共サービスが充実しているの、とても住みやすい町だと思います。

質問2 私は、スポーツを思い切り楽しめる所を紹介したいと思います。テニスコートでテニス

をしたり、野球場で野球をしたり、スパイランドではサッカーやランニングができます。また、町民会館の体育館では、ボールやバドミントンなどの道具を借りて遊ぶこともできます。

質問3 期待はあります。

10年後にはもっと子どもたちが住みやすい町になったらいいと思います。例えば、下校中の道は街灯が少なく真暗なので、街灯を増やしてほしいです。

他にも、駅を造ってもらえたら、子どもたちも移動がしやすくなっていいと思います。



宮沢 光子議員

廃止になるのか路線バス

町長 5月ころまでに考えを決める

問 新潟交通観光バスから「新発田・次第浜線」の路線バスを、今年の9月をめどに、廃止したいという意向が示された。

「新発田・次第浜線」は、年々、乗客が減少し、赤字路線になっているのは事実で、新潟交通観光バスに対して、地方バス路線維持対策補助金は増額の一途である。

しかし、現在、佐々木経由を含めると、バスは13往復している。13往復も運行しているバスを、一気に廃止したいという意向は、非常に極端ではないか。

乗客が減っているとはいえ、高校生の通学、通院や買い物等でバスを使うことしかできない町民にとっては、大事な公共



▲学生にとって大事な通学の足

交通である。

町と新潟交通観光バスは今、どのような話し合いをしているのか。結論はいつ出ずのか。

仮に、廃止になった場合、町としての施策を考えているか。

新発田市との「定住自立圏形成協定」の中で、地域間の公共交通の連携強化が記載されているが、協議をどう進めているか。

町長 新潟交通観光バスのデータでは、平均乗車密度が平成24年度2・3人。平成28年度は1・8人になり、利用者の減少傾向が止まらないようである。

新潟交通観光バスの申し出は、町として、路線バスの継続を希望するのであれば、補助金で赤字分を全額補填してほしい。できなければ、廃止した

問 町の子ども条例では、幼保一体化による質の高い幼児期の教育、保育の提供が掲げられている。

幼児教育の充実は、以前から保護者間で話題になっている。幼児教育に焦点を当てた教育指針を策定すべきではないか。

新たな幼児教育の指針策定を

教育長 先に作られた指針を基に検討

いこのことであった。

5月ころまでに考えを決め、新潟交通観光バスへ返答する。

廃止になった場合の町の施策は、町循環バス路線の見直し、他市町で行われているデマンドタクシー等を検討している。

新発田市との協議では、お互いの循環バスの有効な接続などを話し合う。

一口メモ

※平均乗車密度とは、バス1便当たりの平均利用者数で、始点から終点まで平均して、常時バスに乗っている人数のこと。

ズバリ直言!!

一般質問 町政を問う

- 3月議会では、10議員から町政を問う一般質問がありました。
- 一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、町長等に疑問点をたずねるものです。
- 次ページからは、それぞれの一般質問について要約を掲載しています。
- 全文は会議録として、5月末に町ホームページに掲載される予定です。

10議員が質問

<p>渡辺 豊 議員</p> <p>2 1 町社会福祉協議会の疑問点 園教育の現状と展望は</p> <p>P21</p>	<p>青木 順 議員</p> <p>2 1 町の新たな足を検討せよ 町のごみ処理どうする</p> <p>P20</p>	<p>長谷川 六男 議員</p> <p>3 2 1 大丈夫か冬の防災と安全対策 循環バス小学生減免に 路線バス廃止どう考える</p> <p>P19</p>	<p>五十嵐 利栄 議員</p> <p>3 2 1 農家の窮状救えないか 町職員の残業時間の実態は 住宅開発どう進んでいる</p> <p>P18</p>	<p>宮沢 光子 議員</p> <p>2 1 廃止になるのか路線バス 新たな幼児教育の指針策定を</p> <p>P17</p>
<p>中村 恵美子 議員</p> <p>2 1 国民健康保険税の減免を 入学準備金の3月支給を</p> <p>P26</p>	<p>田中 智之 議員</p> <p>2 1 どうする いじめ防止策 無電柱化推進に対する町の計画は</p> <p>P25</p>	<p>小川 益一郎 議員</p> <p>2 1 高松監査委員適任か 河川敷建物は交付金対象</p> <p>P24</p>	<p>宮沢 さやか 議員</p> <p>2 1 幼稚園教諭採用時の年齢引き 上げを 必要なのかテレビの視聴</p> <p>P23</p>	<p>小川 勝也 議員</p> <p>3 2 1 施設改修の今後の予定は 町の特別職報酬は適切か ふるさと納税の今後は</p> <p>P22</p>



五十嵐 利栄議員

8割を決めた。残りの2割については秋に配分を国は考えている。従って、増額調整もありえるが、ない場合もあるので理解願いたい。
今の時代の中で、聖籠町だけが他より良いというわけにはいかない。

町職員の残業時間の実態は

町長 最高月100時間

問 大手広告代理店の社員が長時間残業が原因で亡くなったが、大きな社会問題になり、国会でも残業時間の上限などが議論されている。
町職員の残業実態について、月60時間を超える実績と最も多い残業時間は、また、サビビス残業はないか。
非正規職員の賃金は、平成29年度予算でどう設定したか。

農家の窮状救えないか

町長 国の動向を注視する

問 戸別所得補償10A1ル当たり7500円が、平成30年度廃止される。そして、突然に大豆の交付単価が2万1500円から1万4千円にダウン通告があった。農家はダブルの痛手で、町の経済も両方合わせて5500万円の損失となる。
国の政策ではあるが、町も数年前には水田農業に1億2千万円まで助成した実績がある。現在は、約4千万円である。町として農家の現状を踏まえて、国が減じた分を助成できないか。
町長 個別所得補償は国の政策なので、今後の動向を注視していきたい。大豆の交付金は都道府県に交付する予算の中で

町長 残業時間60時間を超える実績は平成27、28年1月まで、23件。最大の実績は100時間であった。サビビス残業に当たる事例はない。非正規職員の賃金は、平成29年度予算でどう設定したか。

住宅開発どう進んでいる

町長 来年に工事着工見込み

問 人口1万5千人達成に向けての政策について、①民間主導の正庵地区住宅開発の進捗状況は。②転入者の定住対策としての小・中学校の学力向上目標値は。
町長 正庵地区の宅地開発面積は約3ヘクタールの規模である。現在、文化財保護法に基づき、試

掘調査中。事業者が工事着手できるのは来年の初めから半ば以降の見込み。
教育長 平成32年度の学力目標値は、小学校5・6年生4教科で、現況値100に対し103ポイント。中学校1～3年生5教科で101ポイントが目標。



▲人口増加に期待

大丈夫か冬の防災と安全対策

町長 パトロール強化に努める

問 糸魚川市の大規模火災は記憶に新しいところである。冬の時期の防災対策が取りざたされているなかで、本町も海岸線を有し、冬ともなると、海からの北風により強風や突風が吹き荒れる。特に今年は道路幅が狭かったり、消雪パイプが威力を発揮しないところがあったりと、災害時、大型消防車など、緊急車両が入れないと思われるところが多く見られた。
町民の安全・安心な暮らしを守るためにどう考

える。
①消雪パイプの埋設道路では威力が発揮できず、道路の半分に降った雪が溶けずに積もったままの箇所が多く見られたが、今後の対策を考えているか。
②中央線の引かれている広い道路でも、車1台分のスペースしかないところがあった。排雪などの対応はないのか。
③降雪時の歩道除雪の優先順位として、小学生が登校する歩道を優先し、歩道のない通学路につい

ては、安全のために道路幅の確保は必須と思うが、どう考える。
町長 ①今年度、整備した路線で、実際の稼働で部分的に不具合と思われる箇所もあった。これを改善する予定である。

②事態が悪化し、必要が生じた際は、対応する姿勢で毎年臨んでいる。
③今後は学校側の意見も聞くなどして、必要に応じて路線を淘汰し、再編することも検討する。

循環バス小学生減免に

町長 申請で減免は可能

問 小学生の登校は集団登校が基本であり、1・2年生だけ循環バス減免ということになると、上級生は利用しないだろうし、集団登校の基本に合わないのではないか。
小学生は全員減免対象にして、より多くの子どもたちに利用してもらったらどうか。
町長 病気など臨時的なこと、または、蓮瀨新田などの遠距離通学であるとか、事情があれば保護者の選択によって減免可能である。

路線バス廃止どう考える

町長 対応を検討している

問 新発田・次第浜間のバスが廃止される話が出ている。継続できないのか。また、既存の循環バスを活用するのか。デマンドタクシーなどの方法もあると思うが、町長の考えは。
町長 町民に迷惑がかからないよう、対応を協議し、前向きな検討をしている。



▲機能してほしい消雪パイプ



長谷川 六男議員



青木 順議員

町の新たな足を検討せよ

町長 公共交通全般の見直しを検討

問 ①町の循環バス事業だが、町民からはさまざまな声を聞いている。現在、全国的に関心も高く、導入も増えているのがデマンドタクシー、乗り合いタクシーである。定期運行バスとは違い、メリットは出発地点から、目的地までを結ぶため、無駄な運行がなくなり、経費を抑えることができる。バス停まで歩かなくてもよい、高齢者、歩行困難者にとっては便利である。そのため利用頻度、外出頻度が増え、自宅に閉じこもりがちな状況を解消に導く可能性がある。

町長 デメリットでは乗車予約などがあるため利用に慣れるまで面倒に感じる、



▲利用しよう循環バス

一度に大勢乗れないなどがある。また、胎内市ではすでに導入されているが、苦情は無いに等しいそうである。

町のバス運行、中学校の冬場の送迎、朝夕と、通学の高校生など利用頻度の高い便は残すなど、抜本的な検討はできない

か。

町の大きさ、人口規模、聖籠町はコンパクトで小回りが利く。これらを含め、聖籠町には非常に適し、必要性が高いと考えられるが、ぜひとも検討できないものか。

町長 現在、新潟交通観光バスから新発田・次第

浜線の運行について、今後赤字の補填がなければ、本年9月に廃止したいと申し出を受けている。

デマンドタクシーも選択肢の一つとし、公共交通体系全般の見直しを検討している。導入の際は、メリット、デメリットも含め、今後循環バスの総

合的な見直しの中で、優先的に検討を加えていく。

町のごみ処理どうする

町長 問題意識を共有していく

問 平成28年度から無料配布ごみ袋を2割削減して生ごみ専用袋を作り、生ごみの収集率を上げようとスタートした。実績はどうであったか。

①町のごみ処理全体で、どれぐらいの経費がかかっているのか。

②生ごみの収集量の推移はどうであったか。

町長 ①平成28年度に町のごみ処理にかかる全体の経費を合計すると、約2億4200万円かかる。前年度対比で2・9%の減となっている。

②生ごみの推移は平成26年度は約41万6千キログラム、27年度は約42万5千キログラム、28年度は1月収集分までで約35万3千キログラムであった。

町社会福祉協議会の疑問点

町長 行政事務の範囲外

問 聖籠町社会福祉協議会の会員世帯は、年500円の会費を納入しており、その世帯数は8割ほどとなっている。この会は公益法人であり、町の税金から議会の承認を得て、補助金として1億3千万円強、認められている。透明性が求められるべきものである。また、ホームページ等で町社会福祉協議会の内容を開示し、いつでも、どこでも確認をできるべきである。

①評議員および理事の選任は誰が決定しているのか。

②県の監査は、どの法に基づき、県のどの部署で行われるのか。

③報道では、町長は「事務当局に確認し、地方自治法に抵触しない解釈で現在に至っている」とある。それは、いつの時点か（毎年、町長改選時、理事改選時など具体的に）。法に抵触しないという具体的な法的根拠は何か。条項、確認の方法についてはどうか。

町長 ①・②社会福祉協議会の運営内容については、行政事務の範囲外なので、答弁は控える。

③これも答えるに値しないが、自分のことなのであえて答弁する。毎年、社会福祉協議会の決算期に、地方自治法第142条や、裁判例などを参考に判断している。

既に、町の住民は町の選挙管理委員会に対し、地方自治法第143条第1項の所定の決定を求める申し立てを有しないと判断が示されている。申し立てそのものはどうなのかな、という考え方もあるわけで、ここで議論する立場にない。

園教育の現状と展望は

教育長 総合教育会議の場で

問 幼児教育の重要性は科学的に実証されている。その子の将来にも、町の将来にも投資効果は十分にあると考える。こども園の教職員のスキルアップのため、先進地などで研修し、本町に根付かせようという方法は、限られた予算だが、孫のために使われるとあれば、了解してくれるお年寄りの方も多いのでは

か。

教育長 町は12年カリキュラムで、しっかりやっている。幼稚園の教育要領で示されている活動を組織することで、3年かけて小学校につなげるようになっている。

環境面でも、具体的な活動を通じて小学校、中学校につなげ、思考や規範意識等が身に付くよう取り組んでいる。

教育予算の要望など、教育委員や町長と意見交換をしながら、教育政策を進めている。

継続して、そういう協議の場で町の声、あるいは3園の声を届けていきたいと考えている。



渡辺 豊議員



▲会員は町民（社会福祉協議会）



小川 勝也議員

施設改修の今後の予定は

町長 大規模改修は予定しない

問 ①結いハート聖籠の水回り、トイレ等の施設が老朽化している。改修予定はあるか。

②各公共施設に研修室等が多くあり、利用頻度が少ない施設がある。統合すべきでは。

③教育施設が子どもの増でその都度、施設を増築で対応している。計画性がないと思われる。長期の計画を立てるべきでないか。

④施設管理担当職員が少なくと思う。補充や外部委託等すべきではないか。

町長 ①大規模改修は予定せず、水回りの不具合はその都度、補修対応。②ほとんどの施設が適正稼働状況。利用目的に沿って利用されている。



▲預かり体制が整った亀代児童クラブ

③今後の住宅団地の造成や町の政策によっては、増築が必要になることも考えられる。計画の必要性を検討する。

④担当職員が資格を有する職員と協議し、施設管理を進めている。支障はない。

町の特別職報酬は適切か

町長 審議会の議論を経ている

問 ①県内の市長他、特別職の報酬審議会の答申が出た。それによると県市長会会長の見附市長で80万3700円だ。本町町長の報酬は多すぎないか。

②無償で特別職に準ずる

活動をされている方に、何らかの特典や、お礼をすべきでないか。

③教育関係の各委員の募集をかけているが、年間の会議の回数と、報酬を明示して募集すべきではないか。

町長 ①現在の報酬は歴史的な経過の中で、審議会の議論を踏まえている。②それぞれの団体、個人への活動に行政が関与することで、逆におおのの活動を制限することにもなりかねない。町民の自発的な意見を尊重しながら、共に協働していきたい。

教育長 ③各委員会の開催回数、報酬が統一されてないこともあり、今後は募集の掲載項目や内容について検討。

ふるさと納税の今後は

町長 ふるさと納税をさらに促進

問 ①ふるさと納税の来年度の取り組み概要は。

②寄附金項目の内訳は。

③事業全体での収支はどのようになっているか。

町長 ①来年度は、新たに3万円、5万円のコースを設定、同一寄附者の返礼回数制限を廃止する。②子育てで支援163万円、ふるさと応援121万1千円、高齢者・障がい者支援60万円の順。③寄附額は2月末現在で500万7千円。支出については、段ボール等で365万円。

幼稚園教諭採用時の年齢引き上げをの

町長 若い人材の就職機会を考慮

問 平成18年10月から認定こども園制度がスタートした。本町はこれに先駆けて平成17年より町立の幼稚園・保育園はこども園へと名称を変え、幼保一体化となつてから、10年余りが経過した。また、平成27年4月から聖籠こども園が民営化され、本町が有すること園は3園のみとなっている。

今後、本町の幼児教育をさらに充実したものとするための町の考えは。近隣自治体と比較し、本町は若い世代に焦点を置いた採用要件となっている。本町では幼稚園教諭・保育士両方の免許・資格が必須条件である。年齢の引き上げは可能か。

町長 短大卒程度の学力を持ち、最短で卒業した者を基準に卒業後5年以

内を基本としている。年齢を引き上げることにより、民間からの転職が増え、若い人材の就職の機会が失われる可能性もあるため、慎重な検討が必要。園の職員の資質向上を含めた対応を求めているところである。

必要なのかテレビの視聴

教育長 預かり保育の実態を調査

問 ①預かり保育の充実を図るため、有資格者の増員はできないか。また、保育時間内でのテレビ・ビデオの視聴は教育的な面から必要か。

②平成27年度の一般質問で、3園での土曜保育の実施を提案した。その後の進捗状況は。

③こども園に通う幼児の約半数が預かり保育を利用していると聞く。核家族化や共働き世帯の増加、女性の社会進出等により、保護者の保育に対するニーズは拡大してい

くと考えられる。保護者参加型の各行事については、感染症対策を図る意味で、開催時期の見直しが必要ではないか。

教育長 ①抜本的な見直しによる財政改革が進められたことから、職員の増員は厳しい状況。預かり保育でのテレビ・ビデオ視聴については、実態調査をしていきたい。

②最大利用人数は50人であり、平均の利用人数は約35人程度となっている。平成29年度には、連湯こども園内で預かりの部屋を新設する予定である。保育環境が改善されることから、各園での預かり保育は今のところは考えていない。

③集団生活を送る上でも、感染症に対する対策は大変重要な課題。時期の変更が可能なものは、園で検討したい。



宮澤 さやか議員



▲ニーズが高まる預かり保育



小川 益一郎議員

高松 監査委員適任か

町長 問題なし

問 平成28年12月26日付けで3浜区長（亀塚・網代浜・次第浜）から「議会選出の監査委員の行動に関する調査の要望について」が議長宛てに提出された。

しかし、議長はこの要望書は議会の問題ではないと、議長預かりとする旨に固執し、議会の調査権を放棄した。

議会には「議会運営に関する申し合わせ事項」があり、請願以外の陳情書、嘆願書、要望書、決議書、意見書、要請書、お願い等は、資料配布し議会運営委員会に諮ることになっている。議長は、監査委員は町長が選任する案件なので、町の決定

を尊重するとの立場であった。

議長は、町の決定を尊重するとの立場である。町長はどう考える。

① 昨年末の区長会議で高松監査委員の行動について質問があったと聞く。その質問の内容は。

② 3浜区長の要望書は承知しているか。

③ 議会は監査委員に意見を言えないか。

④ 高松監査委員は法に適合する監査委員と思うか。

⑤ 町長の任命責任は。

⑥ 町長は、町内後援会の会合に高松監査委員を同行していると聞く。監査委員は町政全般をたずね重責を担う。法に触れなければ良いというものではない。町長自らも襟を正すべきでないか。

町長 ① 昨年末の質問の内容は、監査委員として知り得た個人情報（全集落区長の口座等）の守秘義務に当たる内容を開示したとの話について、確認をするものであった。

② 3浜区長の要望は承知

している。

③ 議会活動の中で言える。

④ 適任者として任命した。

⑤ 任命責任問題ない。

⑥ 町長が同行したのでなく、会場で同席。



▲加治川左岸の河川敷

河川敷建物は交付金対象

町長 通達により非課税

問 加治川河川敷内に建物が建設されているが、使用の実態が民間の所有するものである土地と類似して使用しているものは、固定資産税に代わる「国有資産所在市町村交付金」として県に請求すべきである。

税は公平・公正でなければならぬ。

国の見解は交付すべきである。

町長 国からの通達では、交付金の対象とすることは適当でないと示されている。現在もその通達は有効と考えている。交付請求は適当でない。

どうする いじめ防止策

教育長 地域の教育力を高める

問 いじめは子どもの尊厳を傷つけ、ややもすると人生を狂わせることになる。昨年12月以降もいじめが発生しているとの声が、町内の生徒や保護者から聞こえてくる。その中には学校や担任に期待を失い、指導を諦めているケースもある。

いじめ防止のために早い段階での子どもに対する人権教育と、学校においていじめを未然に防ぐ取り組みの構築が必要だ。

① 小学校から中学校に進学する際、児童に関する情報等はどのような形で伝達され情報共有されているか。今後従前の伝達方法で十分と思うか。

② 最近のいじめでは、教師が学級の隅々まで目配りできていないことや、観察する意欲はあるが時間的・精神的余裕がないため発生したケースもある。

今後、教師がより落ち着いた環境で学校に関わるために町は何ができるか。

教育長 ① 学級編成をはじめ、学校生活上の配慮事項などを、小学校から中学校へ文書で提出している。内容は各児童の学習状況や態度、友人関係等10項目程度を一覧表にしている。指導上配慮が必要な生徒に関する情報も、小・中学校で共有している。

② 現在、町講師を3人配置しており、スクール・ソーシャル・ワーカー、相談員、生徒指導アドバイザーの支援も受けている。臨床心理士にも相談できる体制ができている。

今後は、学校・家庭・地域それぞれの立場で一体的な取り組みが求められる。



田中 智之議員

無電柱化推進に対する町の計画は

町長 現段階では時期尚早

問 昨年12月、国や地方自治体に電柱撤去を促す無電柱化推進法が成立した。この無電柱化は「景観・観光」「安全・快適」「防災」の観点から国が推進しているものだ。

本町にはこの推進法に基づいて無電柱化推進の計画があるか。あるとしたらどのような計画か。

町長 無電柱化に関する有効性については十分認識している。しかし、整備には相当額の費用負担



▲進めてほしい無電柱化

が発生する。

また、本町の場合、喫緊の課題として電柱による支障や危険性は見受けられず時期尚早だ。ただ、民間宅地開発など大規模整備があった際は、将来展望を見据え、開発事業者に情報提供する。

第19回 追跡レポート その後どうなった 請願・陳情のゆくえ

平成24年から27年の間に議会で審議・採択された請願・陳情は、請願が22件、陳情は16件ありました。その中でも、特に町民から提出され、

私たちの生活に深くかかわるものの中から4件の請願・陳情について、その後の状況を調査しましたので皆さんに報告します。

陳情 生活道路の環境整備をしてください
陳情名 蓮濁居浦山地区道路環境整備の陳情書
提出者 蓮濁区長 森田春雄
議会採択年月日 平成24年12月13日

請願 通学道路に歩道を整備してください
請願名 苔沼地区通学道路整備に関する請願書
提出者 苔沼区長 中村利雄 外3名
議会採択年月日 平成26年6月23日

処理状況
平成28年度に住宅移転対象の聖籠中学校側の用地買収完了、物件補償契約済み。



処理状況
平成28年度に1工区、聖中～苔沼350mの用地測量・物件調査を完了しました。



今後の計画
平成29年度に1工区、聖中～八万刈側の120mを工事予定です。2・3工区は平成30年度以降に実施予定です。



今後の計画
平成29～31年度の間、1工区の用地購入から工事までを実施する予定です。2・3工区は、平成32年度以降に実施の予定です。



請願 歩道付きの道路へ拡幅整備をしてください
請願名 蓮野苔沼線の歩道付き道路拡幅整備に関する請願書
提出者 別条区長 本間和人 外2名
議会採択年月日 平成26年12月15日

陳情 生活道路の環境整備をしてください
陳情名 6メートル未満生活道路舗装工事の陳情書
提出者 網代浜区長 渡辺幸明
議会採択年月日 平成27年12月14日

処理状況
平成28年度に1工区、蓮野～八幡120mの用地測量・物件調査を完了しました。



今後の計画
平成29年度に、現道舗装工事を実施する予定です。



今後の計画
平成29～30年度の間、1工区の用地購入から工事までを実施する予定です。2・3工区は、平成31年度以降に実施の予定です。



今後の計画
平成29年度に、現道舗装工事を実施する予定です。



国民健康保険税の減免を

町長 納税相談に応じて判断



中村 恵美子議員

問 ①健康保険証を持っている人で、失業などにより収入がなくなった人が病気になる入院した場合、病気で入院し収入がない場合、聖籠町では政策として使えるものがない。当事者は、非常に困っている。
新潟市では、そうした人が病気で入院した場合、国民健康保険税の減額や減免の対象となる制度がある。新発田市でも、入院した場合は減額や減免の対象となっている。
本町でも、そうした人に入院や通院が生じた時に、国民健康保険税の減免や減額ができるようになる、町民も安心して体を治すことができる。町も行うべきでないか。

町長 ①国民健康保険税の申請のあったものについて、取扱基準に基づき対応している。
②高校卒業までの医療費助成については、拡大の考えはない。
③子ども医療費の助成について、高校卒業までの自治体は、30あるうち16自治体となっている。高校卒業まで医療費助成をすべきでないか。



▲通学でにぎわう佐々木駅

入学準備金の3月支給を 教育長 検討していく

問 全国的にも就学援助の入学準備金については、6～7月支給の前倒しをして、3月支給とする自治体が増えている。
新発田市では、中学校入学準備金について12月議会、教育長が平成30年度から実施したいと答弁している。

教育長 就学援助の入学準備金の3月支給について、国からの通知では、児童・生徒が援助を必要とする時期に、速やかに入学準備金を支給できるように十分な配慮をするよう求めている。
不公平の生じない、より良い制度となるように、今後、国、県、市内の自治体等、動向を見ながら検討を進めたい。

子ども教育課長 本町では、1期分を9月に支給している。6月末に前年度所得が確定することから、9月支給は遅いと思うので、少し早めに支給することも検討したい。

保育園へ視察・調査

総務文教



2月14日、町内二つの保育園を視察・調査した。まごころ保育園ひがしここの保育目標は「心と体の元気な子」で、生活を通して心身が健やかに育つよう保育を進めている。平成23年開園時の園児数は24人だったが、現在は認可定員130人である。しかし、利用希望者の増加に施設の受け入れ態勢が追い付かないという課題がある。

聖籠はじめ保育園の保育目標は「強く・賢く・礼儀正しく」である。園では給食とおやつにこだわっており、食物アレルギーの改善に努力している。課題は園へ続く道路に外灯がなく、防犯上の懸念が生じていることだ。

両園共通の課題が保育士不足である。これは待機児童の増加に直結しかねない。今後、潜在保育士の発掘など本町独自の施策も必要である。

(文責 田中智之)

町商工会館を視察

厚生産業



3月9日一般会計を含む11議案、1陳情を調査した。主なものとしては、長寿祝金90〜94歳まで、3万円が2万円に。95歳以上5万円が3万円となる。別條地区の民間宅地開発に伴い、別條南線約175メートルが町道認定された。ちなみに造成地は23戸完売とのことである。

陳情については、会議と現地視察を行った。商工会館は完成から40年が経過し、大規模改修が必要で1千万円の補助を願う内容であった。

町内には約550の企業が立地し、約280事業所が商工会員である。企業の加入率は県内でも非常に低い。町内商工業の活性化の要となり、町の発展に尽力されることを願う。

(文責 青木 順)

話し合った レポート



見て聞いて 委員会

回収数は529部、回収率にすると12・4%となり、結果は少し残念なものとなった。しかし、500人以上の方から回答をいただいたと考えるならば、この数字は非常に重みを持つものであり、しっかりと今後の議会改革へ生かしていかなければならない。

もう一つ、今回のアンケート結果で特徴的なところは、60代(36・2%)、70代(25・3%)の方々の回答が非常に多く、全体の6割以上を占めたことである。逆に、18〜19歳、20代の若い年代の回答が少なくなっており、議会への関心の低さが反映しているものと思われる。

他の項目についても集計を進め、内容を精査していきたい。

基本条例の制定は、議会改革にとってシンボリックな意味合いを持つ。しかし、大事なことは自分たちに何ができるか、何をしなければいけないか、それをどういう手段で実現していくかを考えることである。そうした思い

が込められてこそ、基本条例が生きてくる。

今回のアンケート結果は、こうしたことを検討していく上で、大事な情報として生かされるものと期待している。

そして、今後はアンケートの結果だけでなく、以前、視察研修を行った阿賀町、新発田市、福島県会津美里町等で学んだことも生かしつつ、本町議会が町民にとって身近で親しみやすい議会となるよう、議論を続けていきたい。

(文責 田村富美男)

アンケートを終え今後に向けて

議会運営

聖籠町議会では、町民に開かれた議会を実現するため議会改革の推進を図ることとしており、その一環として、議会の基本指針である「議会基本条例」の制定を計画している。

今回は、こうした取り組みに対する町民の皆さんの意見・要望等を把握するため、アンケート調査を実施した。

新年早々にも関わらず、回答をいただいたことに感謝を申し上げます。皆さんよりいただいた

貴重な意見は、現在、集計作業を進めている。結果はまとまり次第、公表をしたいと考えているが、その前に、若干ではあるがアンケート結果について紹介をする。

平成29年1月20日から2月20日までのおよそ1カ月を調査期間とし、町内全世帯、4261世帯へアンケートを配布した。対象は各世帯で1人、18歳以上の方とし、行政区長宛て配布依頼物として配布、回収は郵送によるものとした。

回収数は529部、回収率にすると12・4%となり、結果は少し残念なものとなった。しかし、500人以上の方から回答をいただいたと考えるならば、この数字は非常に重みを持つものであり、しっかりと今後の議会改革へ生かしていかなければならない。

もう一つ、今回のアンケート結果で特徴的なところは、60代(36・2%)、70代(25・3%)の方々の回答が非常に多く、全体の6割以上を占めたこと



お知らせ

～ information ～

☆ 議会を傍聴に きませんか

今回の定例会は、

6月13日(火)開催の予定です。

議会では、どんなことが議論されているのか。あなたに身近なこともかもしれません。お気軽に傍聴においでください。

また、本会議のようすを「エフエムしばた」で放送します。ラジオやインターネットで聞くことができますので、都合で議場に來られない方もぜひ放送に耳を傾けていただき、ご意見、ご要望など、お気軽にお寄せください。



★表紙の写真★

「ママ、ぼく心配だよお」

(蓮渦こども園)

4月10日、蓮渦こども園の入園式。お子さんの心配そうな顔と、ママの素敵な笑顔が印象的でした。

(撮影 長谷川 六男)

発行責任者

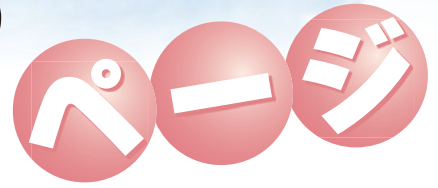
議長 須貝 龍夫

広報広聴常任委員会

委員長 宮沢 光子
副委員長 小川 勝也
委員 中村恵美子
渡辺 豊
長谷川六男
宮沢さやか

みんな

の



聖籠町に嫁いで来た お嫁さん

素敵なおところを たくさん発見したいです



せたか かな
瀬高 香菜さん
(藤寄)

Q どんなきっかけで彼と知り合いましたか？
大学の同級生です。

Q 聖籠町に嫁いできてどんなイメージを持ちましたか？

自然がたくさんあり、果物がおいしい！
サクランボの季節が楽しみです。

Q 町での生活はどのようなですか？(楽しい新婚生活のエピソードもあつたらお聞かせください)

まだ、引っ越して来て新生活が始まったばかりです。

これから素敵なおところや場所をたくさん発見していきたいです。

Q 町に望むことはありますか？

みんなが住みよい、安全な町でお願いします。

今回は、村上市出身で平成29年3月に町へ来た瀬高香菜(旧姓瀬賀)さんです。
皆さんよろしくお願ひします。

皆さんもみんなのページ「聖籠町に嫁いで来たお嫁さん」に出てみませんか。対象者は町外から嫁いで来たお嫁さんです。自薦・他薦は問いませんので、お気軽に役場議会事務局(TEL0254-27-1967)までご連絡ください。

編集後記

聖籠町は平成の大合併から外れ、自立の道を歩んでいます。今年、町制40周年を迎えます。聖籠町に住んでいて良かった、と思ってもらえる町づくりを、執行部と共に議会の立場でも考えていく一年でありたいと思います。

今、政治・経済・教育あらゆる分野で劇場型のニュースで溢れています。何が真実で何が虚偽なのか、非常に分かりにくい。世の中に溢れている情報に対し、人の意見を丸のみにせず、自分でしっかり分析、編集する能力を身に付けたいものです。物事の本質を見極める人たちが、さらによい方向にいくので、と思っています。

広報広聴常任委員会
委員長 宮沢 光子